

第21回 RPA技術者検定® エキスパート 合格率と講評

実施年月：2023年8月

全体合格率 42%

<選択式>

平均点：20点 通過率：52%

<実技式>

実技・問1（必答問題） 平均点：15点

実技・問2 平均点：16点

実技・問3 平均点：14点

【実技式の問題概要】

実技・問1 本年度の既存ファイルをコピーし、翌年度用のファイルを作成する問題

実技・問2 既存シナリオを修正し、システムヘデータを登録後、メッセージをダイアログ表示する問題

実技・問3 ファイル名に応じたフォルダを作成後、ファイルを移動し、作業日を算出する問題

【講評】

実技・問1 「日付関連」及び「四則演算」のライブラリ使用や、コピー及び値のみの貼付けが指示されていますが、指定ライブラリが不使用であったり、数式が貼り付けられていたり、指示通りに作成されていないケースが散見されました。

また、エミュレーションを使用するケースでは、ウィンドウ識別ルールの修正も行い、翌年度以降のファイル名にも対応するようにしましょう。

実技・問2 表示メッセージは、システムの「メッセージ欄」から取得する指示がされていますが、文字列連結でメッセージを作成しているケースが見受けられました。

また、分岐などフローが分かれるシナリオの場合には、ファイルを閉じるなどの共通処理の配置箇所に気をつけましょう。TrueまたはFalseのどちらかにしか配置していない解答がありました。

実技・問3 フォルダ作成時やファイル移動の際のパスの生成に誤りがあるケースが散見されました。

また、ファイル名の年月を利用し作業日を算出する指示でしたが、シナリオ実行日の年月を取得して算出するケースが見受けられました。問題文の指示をしっかりと読み取りましょう。

【本件に関するお問合せ先】

WinActorアカデミックコミュニティ事務局：winactor_learning@am.nttdata.co.jp

※第21回受検者の方がお問合せをいただく場合は、

受検番号・お名前をメール文内に記載の上お問合せください。